

2026 年度(令和 8 年度)学校評価自己評価表

鳳中学校区	校番36	福山市立伊勢丘小学校
	最終更新日	2026年(令和8年)4月6日

I 福山市

めざす姿	すべてのこどもたちが、自分自身の成長を実感できる学校教育の実現
------	---------------------------------

II 中学校区

<p>前年度学校運営協議会(学校関係者評価)の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールに対する理解 ・授業参観による児童生徒の実態把握 ・鳳中学校区の児童生徒の課題や目標の共有化 ・地域に対する小中学校の課題に対する協議 	<p>児童生徒の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と接する場が多く、地域に貢献しようとする児童生徒が多い。 ・粘り強さに欠け、すぐに諦めてしまう傾向がある。 ・家庭でゲーム等をする時間が多く、家庭での過ごし方に課題がある。 ・いわゆる積み残しが多いため、当該学年の学力の定着が難しい児童生徒がいる。 	<p>育成する資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識、理解及び思考力、判断力、表現力 ・他者を理解し、関わる力 ・へこんでも立ち直る力 	<p>めざすこども像(義務教育修了時の姿)</p> <p>「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理的に考え、他者の考えを尊重しつつ、自らの意見を主張することができる。 ・他者や集団のために、自ら考え、主体的に行動できる。 	<p>中学校区として統一した取組等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が自らを振り返り、自分自身の成長を実感できる授業の創造 ・自尊感情の高揚につながる「鳳クリーンプロジェクト」の推進 ・多様な価値観を認め合う集団の育成
--	---	---	--	--

III 自校

<p>学校教育目標</p> <p>自ら学び 人間性豊かな子を 育てる ～未来を拓くリーダー性を育てる～</p>	<p>育成する資質・能力</p> <p>①生きて働く知識・技能 ②思考力・表現力 ③他者と関わる力 ④全力でやりぬく力</p>
<p>現状</p> <p><児童生徒></p> <p>○学力調査等から、児童は学習への意欲が高まり基礎的・基本的な学力は定着している。一方で「複数の資料を関連付けてまとめる」「複数の情報から必要な情報を見つける」「条件等に合わせて工夫して表現する」ことに課題がみられた。</p> <p>○様々な学校行事・児童会活動に主体的に取り組ませることにより自己肯定感が高まっている。一方で不登校傾向の児童が増加するなど学校生活に適應できない児童も増加している。</p> <p>○体育授業において、個々の目的に応じた環境を設定し児童の運動への意識は高まった。一方、日常の運動量には個人差がある。</p> <p><授業></p> <p>○全員が指導案を書いている授業研究を行うことで、教材・単元のねらいに重点をおいた授業改善を進めることができています。</p> <p>○児童一人一人の課題に着目することで、苦手を改善する為の手立てを学年間で交流することで、学力を伸ばすことができた。</p> <p>○教師主導の学びからの脱却をはかり学習指導要領の目指す主体的・対話的で深い学びを創っていく必要がある。</p>	<p>めざすこども像</p> <p>① 知識をつなげて理解し、活用する子</p> <p>② 「なぜ？」を大切に、じっくり考え、決め、表現する子</p> <p>③ みとめ合い、協力して取り組む子</p> <p>④ あきらめず挑戦し、最後までやりぬく子</p>
	<p>研究</p> <p>テーマ</p> <p>「分かる・できる・つかえる」を実感する学びの創造 ～ 見方・考え方をはたらかせ活用を意識した単元デザインを通して ～</p> <p>内容等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の目標に向かう見方・考え方をはたらかせ、活用場面を充実させた単元デザイン ○ 教科等の見方・考え方を明確にし、問題解決を促す発問や場の設定の工夫 ○ つまずきを乗り越えるための支援の在り方
	<p>めざす授業の姿</p> <p>児童が、教科等の見方・考え方をはたらかせ、「分かる・できる」を実感するとともに、「つかえる」につながる授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が知的好奇心を発揮し、既存の知識や経験をもとに、問題を追求する。 ・児童が、自らの考えを適切に表現したり、対話したりして、見方・考え方を身に付け、多様な場面で知識・技能を活用する。 ・児童自身が学習を振り返り、自己の成長や課題に気付いて、粘り強く取り組む。

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)			最終評価(2月末)			
							□指標に係る 取組状況	プロセス 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況	◎短期(中期)経営 目標の達成状況	プロセス 評価
2	主体的に学び 続け、協働 的・創造的に 活動する児童 の育成	★	継続	児童の「わかる・ できる・つかえ る」を実感する学 びづくりを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 模擬授業を基にした教材研究を行う。 個々の課題と教科のねらいを明確にした授業を実践したり、帯タイムや個別指導など補充学習を充実させたりして基礎学力を定着させる。 学校図書館の活用をカリキュラムマップに位置づけて取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の肯定的評価 90%以上 ・「わかる・できる・つかえる」と思う(昨年 95%) ○学期末テスト達成度 40%未満を0%にする (昨年度3月時点 国語 2人 算数 12人) ○学校図書館で年間 15冊以上本を借りる児童を90%にする。 (昨年度 15冊以上 88.5%) 							
				継続	関わり合い、認め 合う 創造的な 活動により自己 肯定感を向上さ せる。	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちで考えて協働的に取り組める委員会や係活動を設定する。 行事のふり返りやキャリアログを活用して、自分や互いの良さを認め合う場をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童・教師の肯定的評価 90%以上 ・自分で考え、委員会活動や係活動に取り組んだ。 (昨年度 96%) ・学校で安心してすごすことができた。 昨年度 97.2%) 						
				継続	自らの健康・体力 に関心を持ち、 意欲的に取り組 む態度を育成す る。	<ul style="list-style-type: none"> 児童自らが、自分に合った目標を決め、体育科授業が好き、楽しいと感じる授業づくりをする。(低) 児童同士で互いに認め合い、取り組み方法を改善していく活動を設定した授業づくりをする。(高) メディアの活用時間をアンケート等で振り返り、活用時間を自らコントロールする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○(低) 体育科の授業が好き、楽しいと感じた。 90%以上 ○(高) 友達の動きや考えの良いとことや課題を見つけ伝えることができる。80%以上 ○メディア使用の時間が3時間未満の児童を 85%以上にする。 						
3	教職員が児童に 元気を与え、職 務にやりがい を感じる事の出来 る職場環境を醸 成		新規	ワークライフバラ ンスを充実させ、元 気に児童と向き合 う職場環境づくり を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 会議や校内研修等の内容・量・手法について業務改善を進め、教職員が授業づくりを充実できる時間をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○時間外在校時間「月平均 35時間以内」80%以上 							

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められにくく、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。